



園芸振興大会の開催について

園芸振興基本戦略に基づいた1億円産地づくりの機運を一層高め、園芸生産拡大、農業者の所得向上を図るため、JA全農にいがたでは、新潟県とJA新潟中央会と共催で「令和2年度園芸振興大会」をANAクラウンプラザホテル新潟で開催いたしました。

○今年度は、コロナウイルス感染症対策として、マスクの着用、消毒液の設置、入室時の検温、席間の間隔をとるなどの対策を講じ、開催いたしました。



★会場には、佐久間副知事、JAグループ今井会長ほか、JA・関係機関・生産者が参集し、会場外リモートを含め、320名ほどが参加しました。



● 主な大会内容

- (1)基調講演「熊本県八代地域における野菜産地の構築と戦略」(熊本県JAやつしろ 富永センター長)
- (2)産地育成計画の実践報告
「水稻経営を中心とした園芸部門強化への取り組み」((株) サンクスファーム黒鳥)
「長岡市における大口れんこんなどの新たな園芸栽培者の確保・育成の取り組み」(長岡市役所)
- (3)報告
「全農園芸事業の概要と取り組み状況について」(JA全農本所園芸部)
- (4)産地の意気込み披露
 - ・JAにいがた南蒲 大口れんこん生産組合
 - ・JAかみはやし ねぎ部会



★ 終盤には、アルビレックスチアリーダーによる応援パフォーマンスおよび産地代表（JAささかみ園芸部会）によるガンバロー三唱が披露され、園芸振興に向けて一致団結し、閉会となりました。



★ 会場内には1億円産地を目指す54産地の概要ポスターの展示も行われました。



● 更なる園芸生産拡大に向けて

JA全農にいがたは、今後も園芸生産拡大に向けて、担い手支援策、農業機械の貸出し支援、各種研修会の開催ならびに需要に基づく作付提案等を行い、生産基盤強化と販売強化の両面から引き続き支援を行っていくとともに、関係機関と連携しながら、1億円産地づくりに取り組んでまいります！！



(園芸部 園芸振興課)

※ 掲載内容の無断使用・転載を禁じます。